

# わが道を行く人々 —奇人・変人伝讃—

平成11年6月29日～7月23日

人は皆、自分が標準規格の王道を歩いている人間とは思いたくありません。社会の中心からは少し外れている、でもたくさんは外れていない、独自の存在だと考えたがるのです。

自身は奇人にはなり損ねたけど、人々は皆「奇人」というものに心惹かれます。わが道を行く人々、異彩を放つ人々のことは、昔から奇人・変人伝として多く出版されてきました。密かな憧れを以て語られ、私たちの心を楽しませてくれる奇人。当館の資料からそのいくつかをご紹介します。

## 展示資料一覧

<>内は当館請求記号

\*\*\* I. 奇人とはなにか\*\*\*

### 【奇人の定義】

まず、辞書の定義はどうなっているでしょう。「一芸・一能に秀でてはいるが、言動がどことなく風変わりな人」(新明解国語辞典)。「気質、挙動ノ、常人ヲ抜ケ出デタル人」(新編大言海)。「一. 気質、挙動が常人と異なった人 二. 家業を支へるに必要な者以外の人。手ずきの人。ひま人。三. 風がはりの人。かわりもの」(大漢和辞典)

以下に奇人についてのさまざまな定義をごらんください。

### 1. 世界変人型録

ジェイ・ロバート・ナッシュ著 小鷹信光編訳

<GK21-60>

東京 草思社 1984

2. はみだし人間の系譜  
杉本苑子著 <KH566-E291>  
東京 読売新聞社 1991
  3. 江戸奇人・稀才事典  
祖田浩一編 <GK13-E637>  
東京 東京堂出版 1992
  4. 異彩天才伝 東西奇人尽し  
日本ペンクラブ編 荒俣宏 選 <GK13-E455>  
東京 福武書店 1991.12 (福武文庫)
  5. 奇っ怪紳士録  
荒俣宏著 <GK13-E96>  
東京 平凡社 1988
- 【奇人研究】**  
ある奇人を知ると、人はそれを語ってみたいくなります。茶飲み話のタネから研究対象まで、奇人はどこにでも登場します。奇人の種類は奇人の数だけあるといえるでしょう。
6. 畸人に学ぶ  
小滝淳著 <725-7>  
東京 日本書荘 1937
  7. にっぽん奇人変人列伝(伝記シリーズ 16)  
別冊歴史読本 新人物往来社〔編〕 季刊 <Z8-1336>  
5巻3号 通巻16号 1980年秋
  8. 奇人・変人天才語 文化編  
松本光代編著 <GK11-E12>  
東京 全国朝日放送 1987
  9. すねもの奇人変人  
樋口紅陽著 <396-179>  
東京 日本書院 大正10

10. 畸人伝・伝 人は私を畸人と呼ぶ  
かわじ・もとたか編 <GK1-G1>  
東京 かわじ・もとたか 1995
11. 定本畸人研究  
畸人研究学会著 <US41-G1578>  
〔東京〕アスキー 1998.2
12. リプレーの奇人不思議館  
M.スローン〔ほか〕編著 伴田良輔訳 <US41-G486>  
東京 河出書房新社 1996
13. 奇人変人伝  
水木しげる著 <Y16-5633>  
東京 朝日ソノラマ 1977 (サンコミックス 水木しげる幻想と怪奇)
14. 畸人さんといっしょ  
畸人研究学会著 <US41-G1484>  
東京 青弓社 1998.4
- \*\*\*II. 奇人さまざま\*\*\*
- 【世界に羽ばたく奇人】  
海の向こうにはまだまだすごい人がいた！ 日本の尺度とは違った奇人の数々です。
15. 和洋奇人伝 初篇  
条野孝茂著 落合芳幾画 <YDM4044>  
東京 小林喜右衛門等 明5.3 和装
16. アメリカ畸人伝  
カール・シファキス著 関口篤訳 <GK21-E35>  
東京 青土社 1991
17. エキセントリック・ピープル 英国奇人変人列伝  
キャサリン・コーフィールド著 井上篤夫訳 <GK21-E2>  
東京 文芸春秋 1987
-

18. 中国畸人伝  
陳舜臣著 <KH613-E5>  
東京 新潮社 1987
19. 亜米利加日系畸人伝  
野本一平著 <DC812-E100>  
東京 弥生書房 1990
20. 英国畸人伝  
イーディス・シットウェル〔著〕 松島正一, 橋本楨矩訳 <GK21-E29>  
東京 青土社 1991
21. 世界奇人ものがたり  
山主敏子・亀山龍樹編 <Y3-353>  
東京 三省堂 1978 (三省堂らいぶらりい 世界と日本の不思議探検)
- 【職業別奇人】  
奇人と職業が結びつけられる時、本からはその職業に対する著者の畏敬の念が感じられます。その職業には奇人を生み出す懐の深さがあるといえるのではないのでしょうか。
22. 奇骨変人傳  
足立栗園著 <363-228>  
東京 明誠館 1917
23. 俳家奇人談・続俳家奇人談  
竹内玄玄一著 雲英末雄校注 <KG251-E3>  
東京 岩波書店 1987(岩波文庫)
24. 面白い変つたつとめ人達の記  
福士繁吉著 <578-185>  
福井 品川書店 昭和3
25. 勝負師鬼才奇人事典  
祖田浩一編 <GK13-E720>  
東京 東京堂出版 1994

26. 武道奇人傳  
戸伏太兵著 <913.6-W98b>  
鱗書房 1955
27. 高座奇人伝  
小島貞二著 <KD831-68>  
東京 立風書房 1979 (立風落語文庫)
28. 男子ゴルフ界は奇人、変人、怪人だらけ オレだけが知っている  
ゴルフ担当記者グループ著 <KD978-E81>  
東京 リム出版 1990 (Lucky books)
29. 古本屋奇人伝  
青木正美著 <UE111-E51>  
東京 東京堂出版 1993
30. 医人奇人 因伯の医師たち・夜話  
森納著 [国府町(鳥取県)] 1991 <SC28-E29>

\*\*\*III. 時代を超え場所をこえて\*\*\*

【それぞれの時代の奇人】

どんな時代にも奇人はいるものですが、その時代だからこそ生まれた奇人というのもあるように思われます。時代の申し子達をごらんください。

31. 近世畸人伝 続近世畸人伝  
伴蒿蹊著 三熊花顛画 宗政五十緒校注 <GK13-158>  
東京 平凡社 1972 (東洋文庫)
32. 大正畸人伝  
鳥谷部陽太郎著 <532-238>  
渋谷町(東京府) 三土社 大正14
33. 昭和超人奇人カタログ

- 香都有穂著 <GK13-E417>  
東京 ライブ出版 1990
34. 明治東京畸人伝  
森まゆみ著 <GK13-G74>  
東京 新潮社 1996.1
- 【地方の奇人】  
奇人はその地方の自慢、誇りです。地方の奇人とはすなわちローカルな偉人のことでしょう。日本のあちこちに奇人たちの足跡をたどることが出来ます。
35. 津軽奇人伝  
原子昭三著 <GK13-953>  
弘前 青森県教育振興会 1984
36. 気仙沼近代畸人伝 1  
菅野青顔〔ほか〕著 <GK13-925>  
気仙沼 NSK地方出版社 1983 (さんりく文庫 6)
37. 常総の名人奇人  
富村登著 <281.31-To468z>  
常総文化史研究所 1960
38. 信州奇人考  
井出孫六著 <GC117-E79>  
東京 平凡社 1995
39. 信濃畸人伝 続  
高井蒼風著 <GK13-286>  
東京 一光社 1973
40. 静岡名人畸人傳  
白鳥金次郎著 <281.54-Si566s>  
静岡名人畸人傳刊行会 1957
41. 岡山の奇人変人
-

- 蓬郷巖編 <GK13-241>  
岡山 日本文教出版 1977 (岡山文庫 74)
42. 豊後の奇人吉四六さん物語 <特204-692>  
宮本清著  
豊州新報社出版社 1934
43. 薩摩奇人笑の寶庫 <特211-154>  
牧三之丞著  
鹿児島 鹿児島刑務所印刷部(印刷) 1940
- <参考文献>  
畸人伝・伝 人は私を畸人と呼ぶ <GK1-G1>  
かわじ・もとたか編 1995
- 変人奇人讃(大波小波) <YB-15>  
東京新聞 夕刊 1999.6.7

◎請求記号が YDM ではじまる資料は、マイクロ資料でのご利用になりますので、展示期間中でもご利用になれます。

国立国会図書館 03-3581-2331(代)

ホームページアドレス <http://www.ndl.go.jp>

■国立国会図書館 ■□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□■03(3581)2331■